



Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista
São Paulo, SP – 01310-925

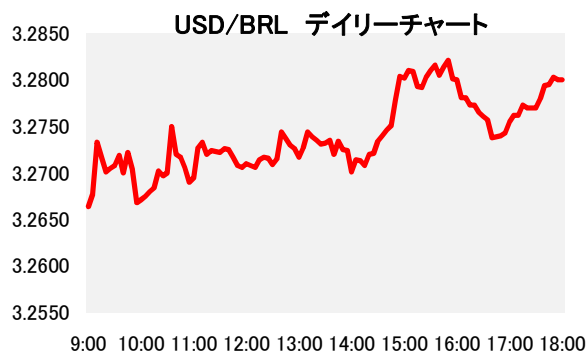
1. マーケット・レート

			12月20日	12月21日	12月22日	12月23日	12月26日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.3500	3.3300	3.2910	3.2700	3.2800	+0.0100
	BRL/JPY	Spot	35.16	35.28	35.73	35.86	35.69	-0.17
	EUR/USD	Spot	1.0388	1.0429	1.0433	1.0452	1.0460	+0.0008
	USD/JPY	Spot	117.80	117.52	117.62	117.27	117.10	-0.17
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	12.534	12.459	12.441	12.447	12.436	-0.011
	Future	1Year(p.a.)	11.685	11.626	11.614	11.604	11.588	-0.016
	On-shore	6MTH(p.a.)	2.608	2.493	2.415	2.367	2.332	-0.035
	USD	1Year(p.a.)	2.647	2.645	2.589	2.591	2.552	-0.039
株式	Bovespa指数		57583	57647	57255	58056	58620	565
CDS	CDS Brazil 5y		286.53	282.78	283.01	282.73	279.27	-3.47
商品	CRB指数		190.567	190.781	190.309	190.529	休場	-

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

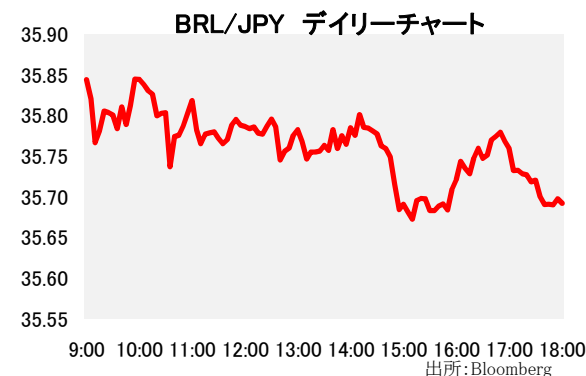
2. 主要経済指標

イベント	予想	実績	前回
中央政府財政支出	-41.0b	-38.4b	40.8b



3. 要人コメント

ヴェスコビ伯財務省秘書官	2016年に財務省は政府系ファンドを使わない予定。
--------------	---------------------------



4. トピックス

- 本日のレアルは3.2670で寄り付いた。オープン直後に日中高値となる3.2650を付けると、クリスマスの祝日で市場参加者が限られる中、3.27を挟んでの揉み合いに転じた。午後に入り11月の中央政府財政収支が前月の大幅黒字から単月としては本年最大の赤字に転じたと発表されると、レアルは売られ本日の安値となる3.2840まで下落した。結局3.2800でクローズ。本日はクリスマスの祝日で欧米の主要市場が休場だったため、ブラジルの為替取引引量も通常の2割程度だった。新規材料もなく動意に乏しい展開となった。
- ブラジルのインフレ減速が伯中銀の利下げを後押しするとの思惑を背景にボベスパ指数は朝方から堅調に推移。2営業日続伸し、前日比1.2%上昇。
- 伯中銀公表のエコノミスト予想集計では、2016年の経済成長率予想が▲3.48%から▲3.49%に小幅下方修正された。2017年予想は0.58%から0.50%に10週連続で下方修正された。また、2016年のインフレ率予想は6.49%から6.40%に7週連続で下方修正され、2017年予想も4.90%から4.85%に下方修正された。

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべて お客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお問い合わせ申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は 著作物であり、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。